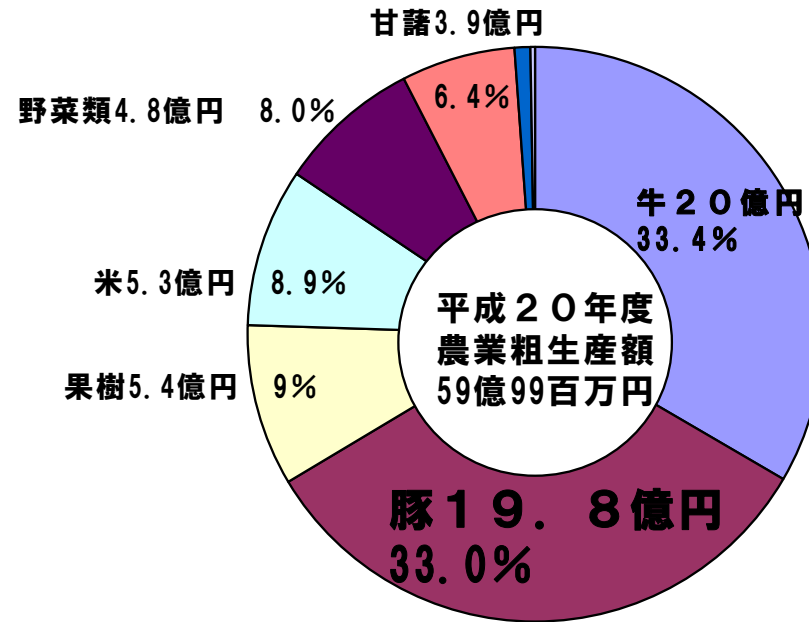


**「高い生産性・収益性の実践と
多様なニーズに応えられる
かごしま黒豚の生産を目指して」**



鹿児島県 肝付町（有）黒木養豚

地域の概況



総面積: 約308.12km²(内約80%は山林です。) 人口: 18,307人 (H17年10月1日国勢調査)

平成22年 1月1日現在	牛				豚				
					黒豚		白豚		
	総計	母牛	肥育	子牛	総計	母豚	肉豚	母豚	肉豚
戸数	290戸	279戸	20戸		23戸	12戸	12戸	11戸	11戸
(うち一貫)	7戸	7戸	7戸		15戸	12戸	12戸	3戸	3戸
頭数	8,302頭	3,225頭	3,307頭	1,770頭	33,477頭	6,104頭	6,922頭	9,771頭	6,660頭

経営の概況

労働力の構成
(平成21年5月現在)

鹿児島黒豚
母豚120頭の
一貫経営です。

父（役員）

畜舎の補修・修理

私（役員）

養豚全般

弟（役員）

分娩舎・離乳舎の
飼養管理全般

母

豚舎の清掃、
洗浄、消毒

従業員（1名）

肉豚出荷、豚の移動、
糞尿処理、離乳舎の洗浄

妹

経理事務

経営の推移

昭和41年 父がバークシャー種母豚6頭の繁殖経営と果樹の複合経営を開始

昭和62年 後継者として就農

平成11年 母豚110頭規模になり、「有限会社黒木養豚」を設立

平成21年 母豚120頭 労働力6名

現在まで、豚舎はすべて手作りで建設し、無理なく規模拡大を実施。

バークシャー種の特徴

・大型種と比較すると

①産子数が少ない

②発育が劣っている。

③肥育日数が長い

④体質が弱い

⑤夏の暑さに弱い

⑥優れた肉質である。



優れた肉質であるが、生産性が低い。

繁殖成績を向上させるための取組み



全頭分娩看護による子豚の損耗防止



妊娠鑑定機を用いた早期の受胎確認



自家産緑餌の給与



年間を通じた電照の実施

全頭分娩看護による子豚の損耗防止



分娩時は仮死状態の子豚でも人工呼吸をするなど全頭分娩看護を実施しています。

妊娠鑑定機を用いた早期の受胎確認



超音波を利用したエコーによる妊娠鑑定を行い、
早期に受胎確認を行っています。

自家産緑餌の給与



母豚・種雄豚は、良好なボディーコンディションの維持と産子数・泌乳量の増加を図るため、自家産緑餌を毎日給与しています。

年間を通した電照の実施



母豚の発情再起の短縮やストレスの軽減を図るため、年間を通して電気を使用し、日照時間を十分確保しています。

肥育成績を向上させるための取組み



離乳後の雌雄別飼いの実施



余裕をもったスペースでの肉豚管理



出荷前の体重測定と肥育日齢の確認

離乳後の雄雌別飼いの実施



離乳後は良好な発育を図るため雄雌別飼いを実施しています。

余裕をもったスペースでの肉豚管理



蜜飼いによる疾病・ストレス・事故を軽減するため、余裕を持ったスペースで管理しています。

出荷前の体重測定と肥育日齢の確認



出荷時は、体重測定の実施と肥育日齢の確認を行い、取引先別の多様なニーズに対応しています。

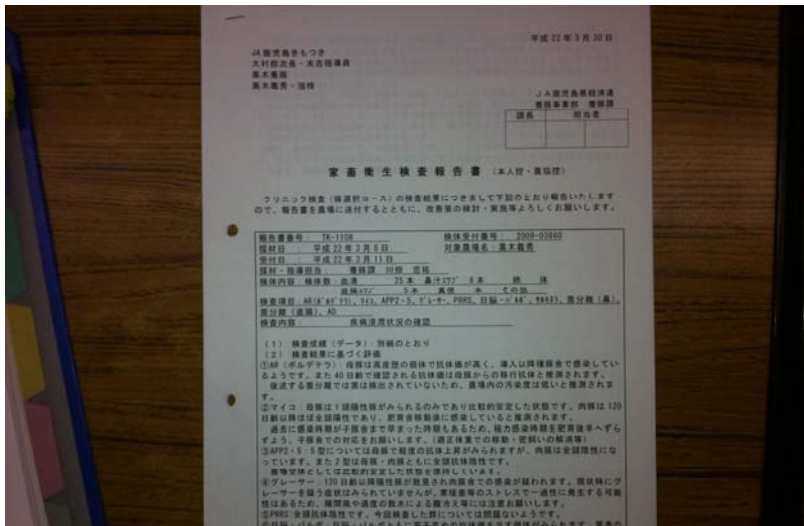
疾病の侵入防止、事故率の低減のための取組み



母豚の移動前の徹底した洗浄



豚舎の洗浄と換気・滴冷による環境の維持



年2回の衛生クリニックの実施



外部からの立入り制限

母豚の移動前の徹底した洗浄



母豚を分娩舎へ移動するときは、1頭1頭ツメの先まで徹底的に洗浄し、フラッシング消毒したあとに移動しています。

年2回の衛生クリニックの実施

平成 22 年 3 月 30 日

JA 鹿児島きもつき
大村部次長・末吉指導員
黒木養豚
黒木義秀・強様

JA 鹿児島県経済連
養豚事業部 養豚課

課長	担当者

家畜衛生検査報告書 (本人控・農協控)

クリニック検査 (豚選択コース) の検査結果につきまして下記のとおり報告いたしますので、報告書を農場に送付するとともに、改善策の検討・実施等よろしくお願ひします。

報告書番号: TK-1108 検体受付番号: 2009-03860
採材日: 平成 22 年 3 月 8 日 対象農場名: 黒木義秀
受付日: 平成 22 年 3 月 11 日
採材・指導担当: 養豚課 川畑 忠祐
検体内容: 検体数: 血清 25 本 鼻汁スワブ 8 本 肺 体
直腸スワブ 5 本 糞便 本 その他
検査項目: AR (ポルデテラ)、マイコ、APP2・5、グレーサー、PRRS、日脳・バルボ、サルモネラ、菌分離 (鼻)、
菌分離 (直腸)、AD
検査内容: 疾病浸潤状況の確認

(1) 検査成績 (データ): 別紙のとおり
(2) 検査結果に基づく評価

①AR (ポルデテラ): 母豚は高産歴の個体で抗体価が高く、導入以降種豚舎で感染しているようです。また 40 日齢で確認される抗体価は母豚からの移行抗体と推測されます。後述する菌分離では菌は検出されていないため、農場内の汚染度は低いと推測されます。

②マイコ: 母豚は 1 頭陽性豚がみられるのみであり比較的安定した状態です。肉豚は 120 日齢以降ほぼ全頭陽性であり、肥育舎移動後に感染していると推測されます。過去に感染時期が子豚舎まで早まった時期もあるため、極力感染時期を肥育後半へずらすよう、子豚舎での対応をお願いします。(適正体重での移動・密飼いの解消等)

③APP2・5: 5 型については母豚で軽度の抗体上昇がみられますが、肉豚は全頭陰性になっています。また 2 型は母豚・肉豚ともに全頭抗体陰性です。農場全体としては比較的安定した状態を保持しています。

④グレーサー: 120 日齢以降陽性豚が散見され肉豚舎での感染が疑われます。現状特にグレーサーを疑う症状はみられていませんが、寒暖差等のストレスで一過性に発生する可能性はあるため、隙間風や過度の散水による腹冷え等には注意をお願いします。

⑤PRRS: 全頭抗体陰性です。今回検査した群については問題ないようです。

⑥日脳・バルボ: 日脳・バルボともに若干高めの抗体価を示す個体がみられます。夏季のワクチン接種の徹底をお願いいたします。

年2回の衛生クリニックを実施し、農場の疾病侵入状況の把握を行い、清浄化へ取り組んでいます。

豚舎の洗浄と換気・滴冷による環境の維持



滴冷の水が
出ています。

各豚舎の清掃、洗浄、消毒、乾燥を徹底しています。換気扇、滴冷などにより環境を良好に保っています。

外部からの立入り制限



豚舎の建築、機械の修理は、自前で行うことにより、外部からの立ち入りをなくすことで疾病の侵入を防いでいます。

経営分析における繁殖成績

	(有) 黒木養豚	畜産協会診断 黒豚農家平均
1 腹当り分娩頭数	9.8 頭	9.3 頭
1 腹当り哺乳開始頭数	9.0 頭	8.3 頭
1 腹当り離乳頭数	8.5 頭	7.6 頭
分娩回数	2.16 回	2.14 回
育成率	94.5%	90.3%

経営分析における肥育成績

	(有) 黒木養豚	畜産協会診断 黒豚農家平均
母豚1頭あたり 肉豚出荷頭数	16.9頭	13.8頭
対出荷頭数事故率	5.1%	11.7%
1日当り増体量	523g	495g
母豚1頭あたり 枝肉生産量	1,264kg	1,007kg
農場要求率	3.99	4.07

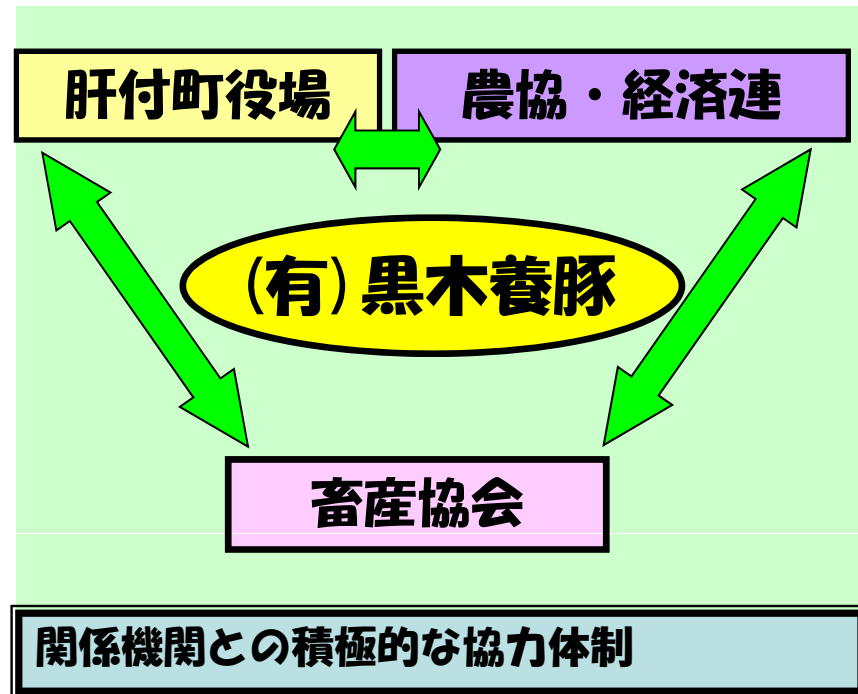
経営管理における取り組み



少しずつ自分たちで豚舎を建設し規模拡大



家族で法人化し、役割分担



少しずつ自分たちで豚舎を建設し規模拡大



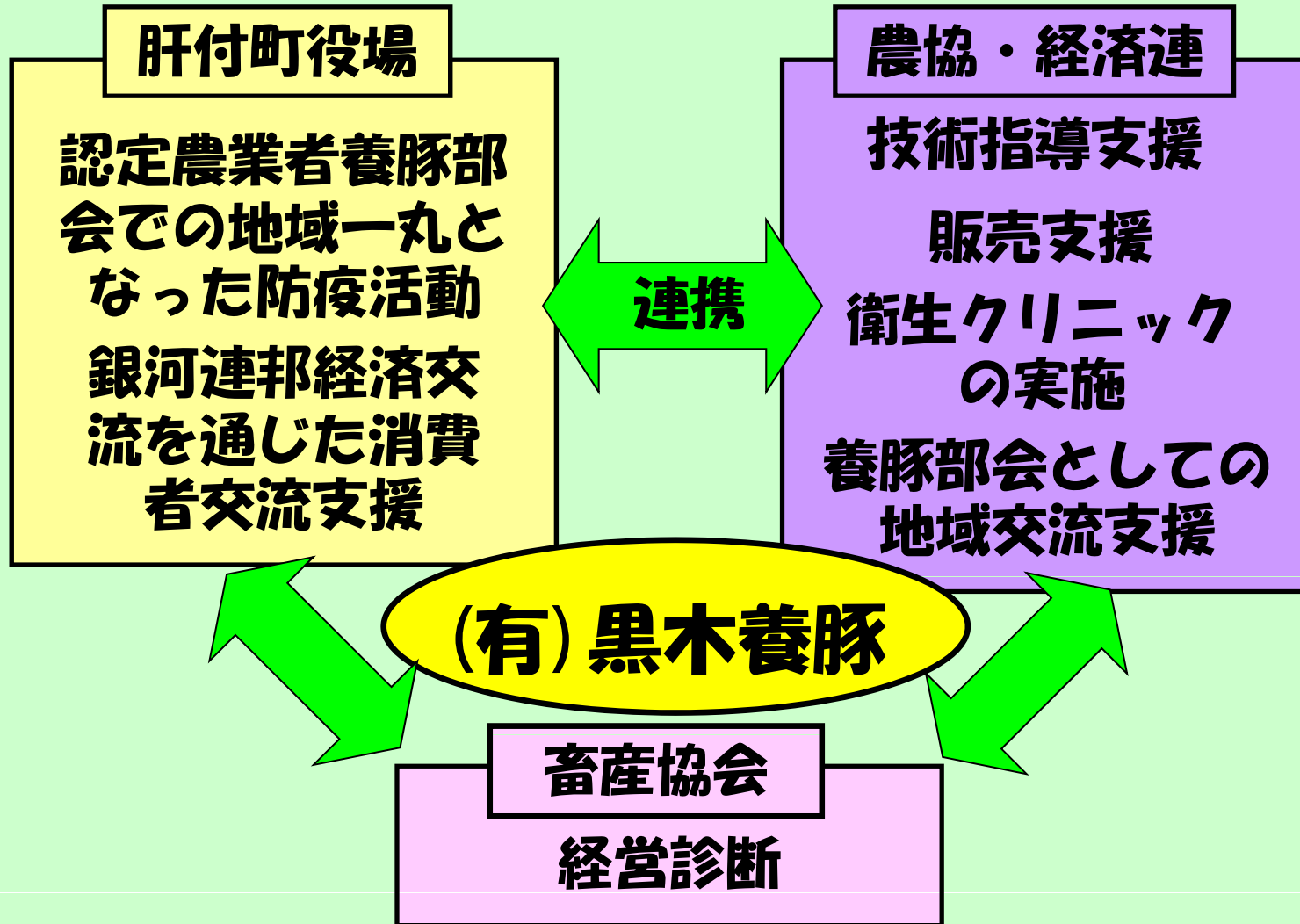
規模拡大に伴う施設などは、すべて手作りで新築や増築を行い、コスト低減を図っています。

家族で法人化し、役割分担



法人化により、経営基盤と就業環境の整備を確立できました。

関係機関との積極的な協力体制



こだわりの豚肉生産

ミネラル豊富な湧水を使用

優良種豚の整備



5年連続上物率80%達成

九州農政局長賞受賞



特徴ある黒豚作り



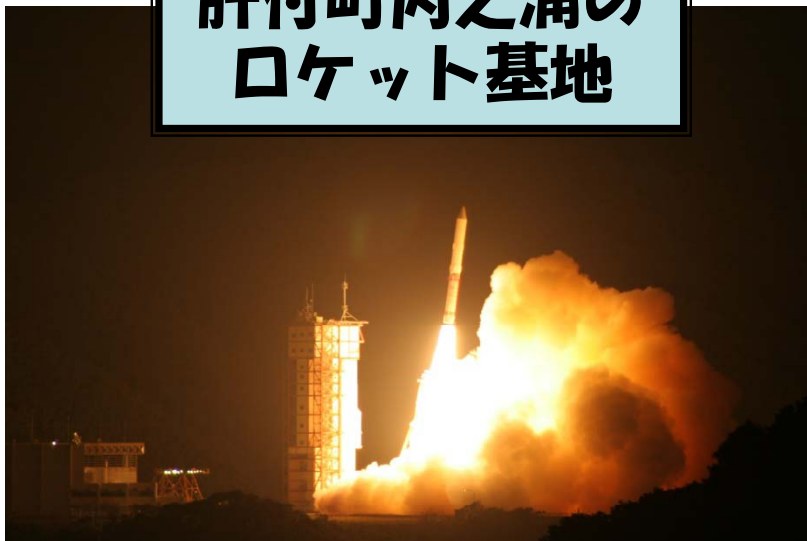
自慢の鹿児島黒豚



豚舎で使用している湧き水

産直活動と消費者交流

肝付町内之浦の
ロケット基地



相模原桜祭りの様子



鹿児島黒豚じゃんぼ串



相模原市での交流会にて



産直活動と消費者交流

旧宇宙科学研究所関連施設の6市町で銀河連邦という姉妹都市を結んでおり、平成18年よりそのご縁で、神奈川県相模原市での産直取引が始まっています。



はやぶさの
出発地です。

肝付町内之浦のロケット基地

産直活動と消費者交流

平成19年より、神奈川県相模原市の市民桜まつりに毎年出店し、直接消費地の方々と交流を行っています。



相模原桜祭りの様子

産直活動と消費者交流

今年も関係機関のご協力をいただき、1400本を完売いたしました。



鹿児島黒豚じゃんぼ串

産直活動と消費者交流

多くの（有）黒木養豚ファンの皆様のご期待に応えるべく、これからもこだわりの鹿児島黒豚生産に頑張ります



相模原市での交流会にて

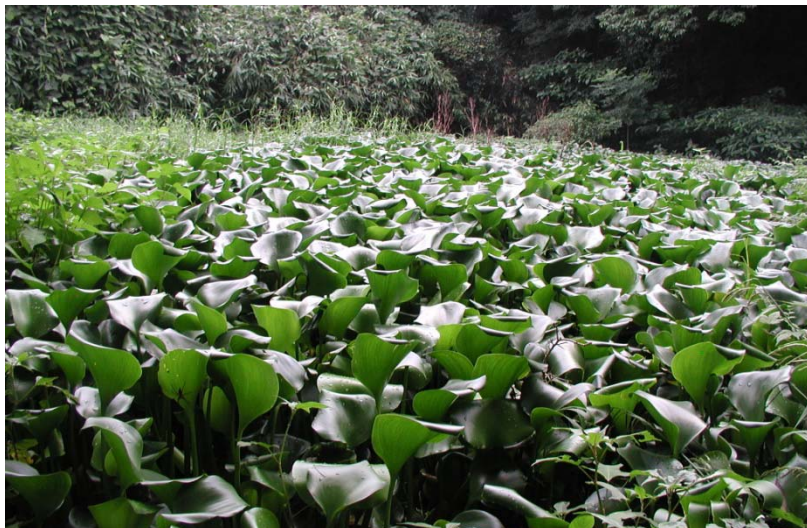
環境保全対策



浄化処理施設



堆肥化施設



自然浄化用の池



放流水の状況

環境保全対策



浄化处理施設

環境保全対策

完成した堆肥は緑餌の畑等での利用や周辺
耕種農家へ譲渡を行っています。



堆肥化施設

環境保全対策

浄化処理水は、ホテイアオイの池で自然浄化後放流



自然浄化用の池

環境保全対策

浄化処理水は、ホテイアオイの池で自然浄化後放流



放流水の状況

地域社会とのかかわり



養豚部会としての農業祭における
産地消活動



地元消防団活動



訪問介護巡回車「黒豚号」を寄贈



遊漁船組合での海岸清掃

地域社会とのかかわり



養豚部会としての農業祭に
おける地産地消活動

地域社会とのかかわり



訪問介護巡回車「黒豚号」を寄贈

地域社会とのかかわり



地元消防団活動

地域社会とのかかわり



遊漁船組合での海岸清掃

黒木養豚場の鹿児島黒豚

●今後の目指す方向性

黒豚の品質にこだわり愛情を持って育て上げ、信頼のある産直を実施できているが、その信頼を損なうことなく、情勢に左右されない安定した生産基盤を維持したい！

目標は、豚肉の刺身を食卓に届けられるくらい安心・安全で絶大な信頼のある豚肉作りの実現！

ご静聴ありがとうございました。

鹿児島県 肝付町 (有) 黒木養豚